

—平成25年度決算状況—

つたけみち  
**阿南町 予算の使途(決算編)**

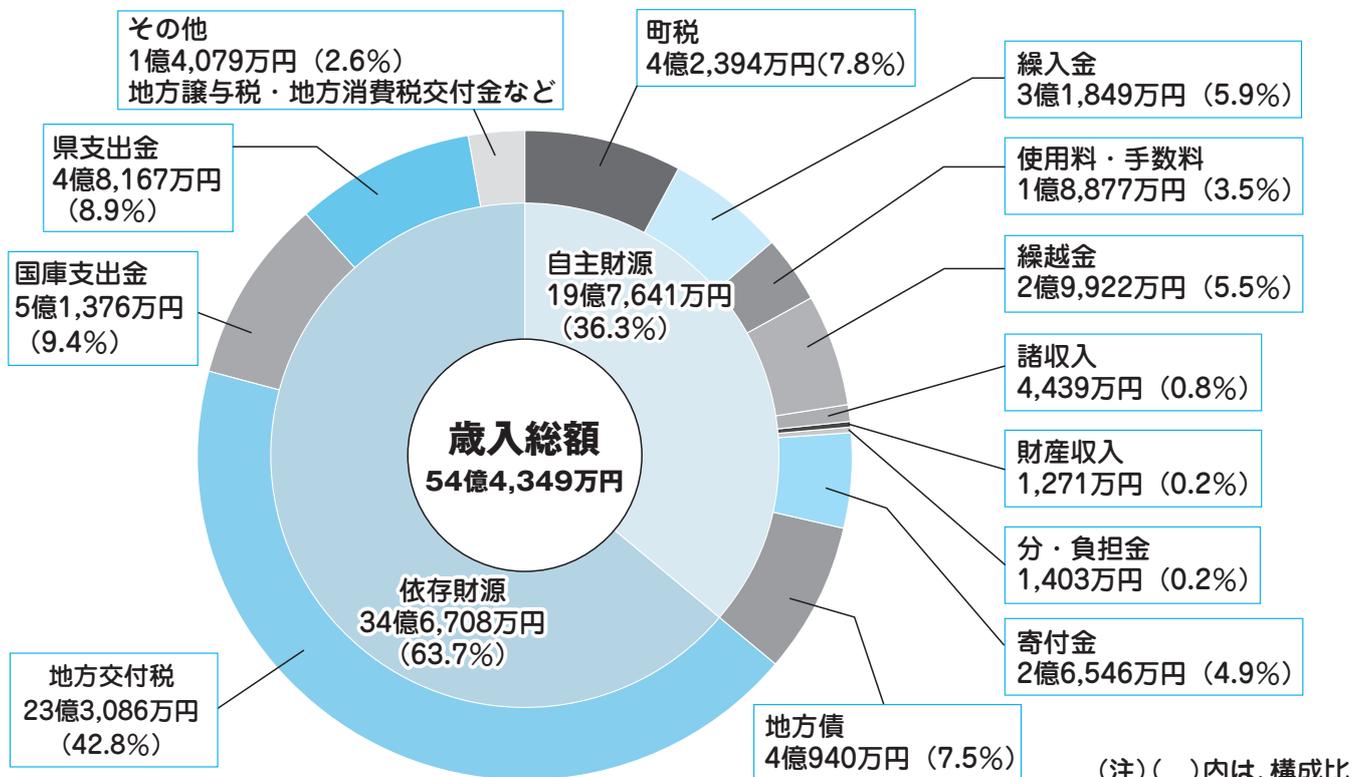
平成25年度の決算が9月議会で認定されました。

一般会計は歳入総額54億4,349万円で前年度比29.1%の増、歳出総額51億6,504万円で同31.8%の増となりました。歳入面、歳出面ともに、昨年度から始めました農業支援を目的としたふるさと納税の増が主な要因です。

歳入面では、農業支援を目的としたふるさと納税が2億6,320万円となったものの、町税の歳入に占める割合は僅か7.8%で依然として自主財源は乏しく、国の施策や景気の変動等の外的要因に大きく左右されやすい状況が続いています。

歳出面にあっては、小規模特養太陽の家建設事業や富草へき地診療所建設事業などの大規模な建設事業を行いました。また、前年度に引き続き、町内の景観整備事業や保育料軽減などの魅力ある地域づくりと生活環境の向上、少子高齢化対策を目指した諸事業の推進にも努めています。また、道整備交付金事業や農山漁村地域整備交付金事業(林道)を活用し、従来からの道路整備など社会資本の整備充実のための諸事業の推進にも努めています。

**一般会計の歳入の内訳 総額 54億4,349万円**



**町税の内訳**

町民税	個人	1億4,233万円
	法人	1,825万円
	小計	1億6,058万円
固定資産税	土地	4,118万円
	家屋	9,064万円
	償却資産	9,199万円
	交納付金	105万円
	小計	2億2,486万円
その他	たばこ税	1,951万円
	軽自動車税	1,439万円
	入湯税	460万円

- ◎ 自主財源とは… 町が独自に確保できる財源
- ◎ 依存財源とは… 国または県に依存する形で確保される財源

**平成25年度会計別決算額**

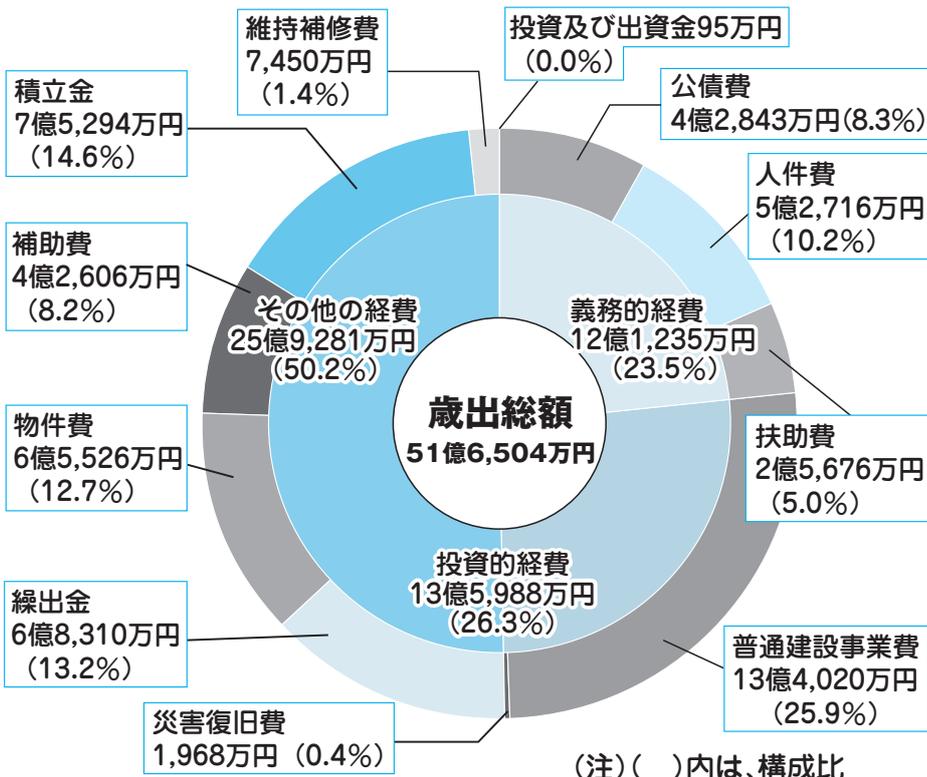
会計名	歳入額	歳出額	差引(繰越金等)	
一般会計	54億4,349万円	51億6,504万円	2億7,845万円	
特別会計	国民健康保険事業	4億7,662万円	4億7,614万円	48万円
	介護保険事業	8億3,069万円	8億3,013万円	56万円
	後期高齢者医療事業	6,416万円	6,411万円	5万円
	簡易水道事業	3億9,698万円	3億9,629万円	69万円
	下水道事業	2億7,821万円	2億7,791万円	30万円
合計	74億9,015万円	72億0,962万円	2億8,053万円	

町独自の政策で行われた主な事業

町民バス・通学バス運行事業	2,117 万円
交通弱者や学生の足である路線バスの運行を行いました。	
集落コミュニティ振興交付金	1,029 万円
各集落へ振興交付金を交付し、集落の活性化や景観整備を図ることができました。	
廃校舎改修事業	1,330 万円
日吉の廃校舎を交流拠点施設に改修、また、当地域の簡易給水整備を行いました。	
和合元気なむらづくりプロジェクト事業	170 万円
和合地区の休耕田を復活し圃場整備、伝統野菜栽培による販路拡大が図られました。	
保育料軽減事業	3,757 万円
子育て支援充実のために保育料を半額にしました。	
出産・結婚祝金支給事業	375 万円
過疎・少子化対策として出産・結婚を祝福しました。	
小規模特養太陽の家建設事業	4 億 9,118 万円
要介護高齢者の生活支援の充実と、雇用の場の確保が図られました。	
地域医療連携ネットワーク活用推進事業	3,931 万円
町内の医療や介護、保健の情報共有を図り、IT を活用した多職種協働の高齢者等支援チームをつなげるシステムを活用することにより、地域住民全体の自助や共助、公助に対応した連携体制を構築することができました。	
富草へき地診療所建設事業	6,653 万円
富草老人福祉センターに併設する複合施設から独立した施設として整備したことで、インフルエンザなどの感染症に対し万全な対策が可能となるとともに、十分な駐車スペースが確保されることで、利用者の安全性及び利便性の向上が図られました。	
ふるさと納税(農業支援)特産品取扱業務委託	1 億 500 万円
ふるさと納税制度を活用した農業振興が図られました。	
公衆用トイレ建設工事	1,103 万円
商店街の活性化と買い物客の利便性が図られました。	
道路新設改良事業	3 億 182 万円
町内道路の改良・舗装工事を行いました。	
マイホーム建築資金補助事業	1,612 万円
住宅の新築に補助を行い定住促進を進めました。	
奨学金貸与事業	2,149 万円
高校生、大学生への奨学金を貸与し、子育て支援策を充実させました。	

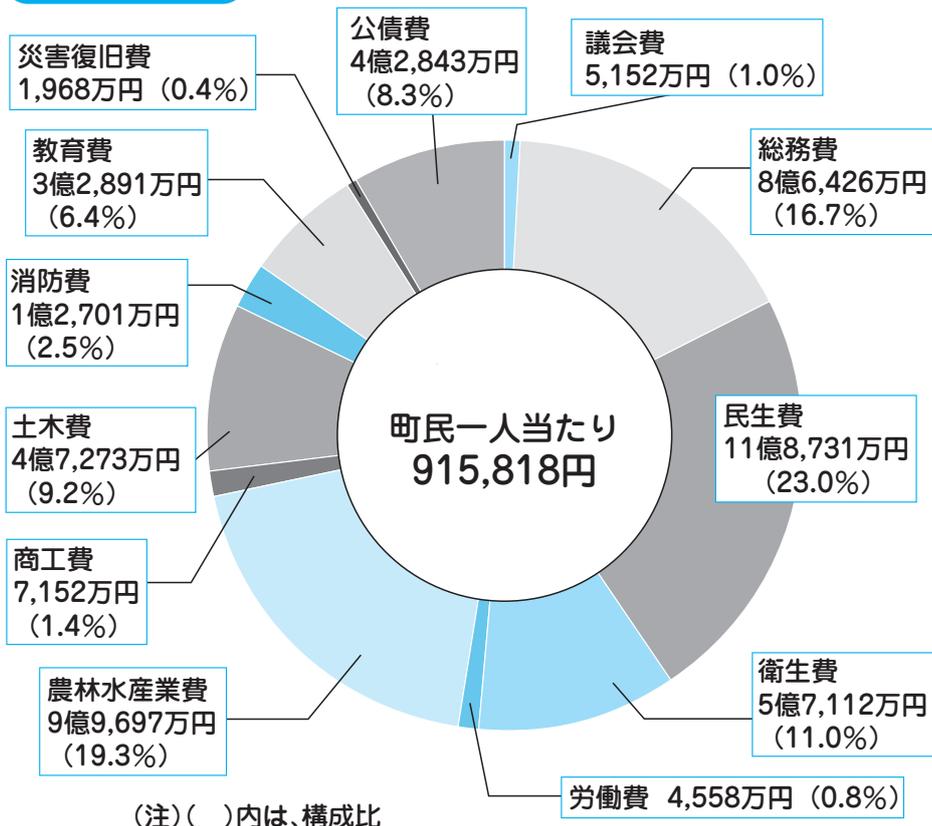
一般会計の歳出の内訳

性質別内訳 総額 51億6,504万円



- ◎ 義務的経費とは…  
給料や借入金の返済など、支出が義務付けられており、極めて硬直性が強い経費
- ◎ 投資的経費とは…  
道路や施設の建設など、社会資本の整備に支出する経費

目的別内訳



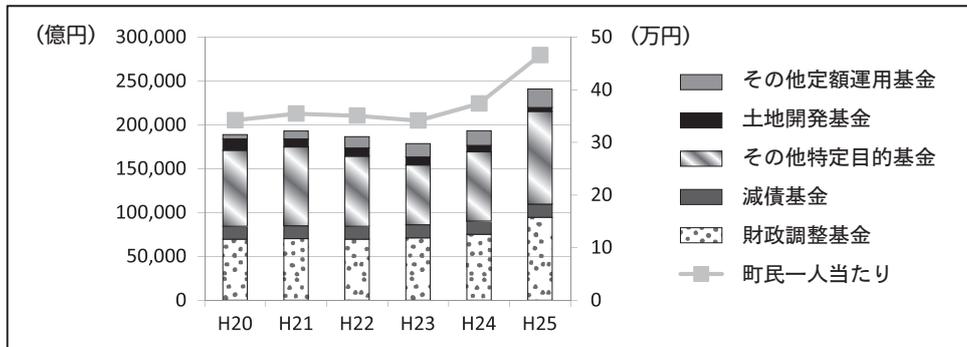
## 町の貯金(基金)と借金(地方債)残高の推移

町の貯金(基金)は、ここ近年は18億～19億円を推移していましたが、昨年度は農業支援を目的としたふるさと納税の影響で24億円となり前年度に比べ5億円近く増えました。

借金(地方債)は、年々順調に減っており、平成19年度にピークだった87億円に比べると昨年度は約53億円となっており、7年間で34億円減少しています。

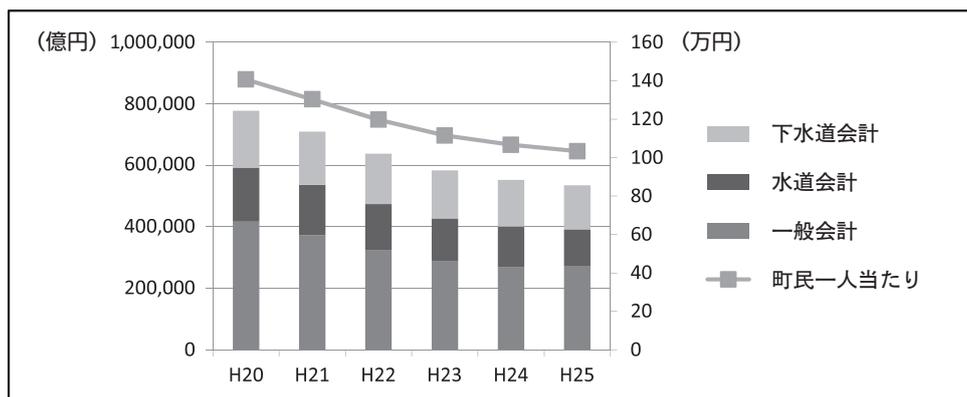
### ○貯金(基金)残高

地方債償還や施設を維持するためなどに、さまざまな基金を積み立てています。



### ○借金(地方債)残高

町が事業を行う上で不足する財源を調達するために、国の資金や民間資金を借り入れています。



## 阿南町の財政健全化判断比率を公表します

財政健全化判断比率の算定を行いました。阿南町では国が定める早期健全化基準を下回る比率となっており、おおむね健全な運営といえます。

項目	説明	阿南町の比率		国の早期健全化基準
		H25	H24	
実質赤字比率	一般会計が赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	15.0%
連結実質赤字比率	一般会計及び特別会計の合算で赤字のとき、赤字額の標準財政規模に対する割合	—	—	20.0%
実質公債費比率	地方債の元利償還金へ、町が負担する一般財源の標準財政規模に対する割合(3か年の平均)	5.4%	7.0%	25.0%
将来負担比率	規模に対する割合	—	—	350.0%

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字でないため「—」で表示。

※将来負担比率についてはマイナスのため「—」で表示。

※標準財政規模は「標準税収入額等+普通交付税+臨時財政対策債発行可能額」で計算されます。

※公営企業会計(簡易水道、下水道)資金不足比率は、赤字でなく数値がないため、表にしてありません。